

学校用

スタートです。特別支援教育！

～すべての子どもが輝くために～



社会全体で子どもを育てる

どの子にも「わかる」授業の創造

つなごう・伸ばそう 子どもの育ち

学校間の 連携

「個別の教育支援計画」を立てて、実態把握や指導内容を必ず引き継ぎましょう

かかえこまない・おしつけない

キーワードは

- ・パートナーシップ
- ・チームワーク

幼稚園（保育所）

小学校

- ・発達障害のある児童生徒の相談が増えています。
- ・発達検査をすることもあります。

保健・福祉

保健センターの発達相談員が、就学指導委員に委嘱されています。

スクールカウンセラー

特別支

幼、小、中、高へのセン

N P O

- ・県と協働してボランティアを養成しました。
- ・研修会を自主的に開催しています。

連携のキーステーションとして相談にのります。

市町村教育委員会

特別支援教育 コーディネーター指導者

特別支援教育 支援員

*このリーフレットでは「学校」という表現に幼稚園を含んでいます。

「連携」です！

- ・ネットワーク
- ・フットワーク

関係機関の連携

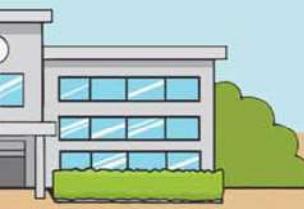
つなごう・活かそう
地域の資源

学校だけで解決できないときは、いろいろな機関に相談しましょう

社会参加と自立をめざす

中学校

高等学校



のかたちは？



特別支援教育
コーディネーター



労 働

専門の職員が個別に職業相談や就労支援をしています。

援学校
ターゲット的役割を担います

- ・校内支援体制づくりを共に考えます。
- ・学校サポート体制づくりについてアドバイスします。



特別支援教育巡回
アドバイザー

教育研究所

巡回相談員

医師や大学教授などが巡回相談員と定期的な事例検討会をしています。



最近はADHDや広汎性発達障害に関する受診や相談が多くあります。

医 療

専門家チーム

学校訪問による相談を積極的に行ってています。専門家チームと連携して、柔軟に対応します。



校内

特別支援教育 コーディネーターの役割

- ・校内の連絡調整
- ・保護者との相談窓口
- ・担任への支援
- ・関係機関との連携
- ・校内委員会での推進役



担任と共に考えます。

Q. 特別支援教育コーディネーターにはどんな人がなるのですか？

- A. ・校長に指名された人。
- ・資格条件はありませんが、教育研究所では、養成講座受講者に修了証を発行しています。
 - ・専門性とリーダーシップ！

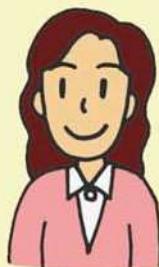
*スキルアップのための講座を継続します。

△町では、町教育委員会が主催し、コーディネーター研修会をしています。

○市では、コーディネーターが、検査法やその分析について、自主研修会を開催しています。

教職員

チームワーク



担任

ABCで始めよう

- A いつもの授業を特別
B みんなで教材の工夫を
C お互いに授業参観しあつ

校内委員会

メンバー

- ・校（園）長
- ・特別支援教育コーディネーター
- ・養護教諭
- ・生徒指導部長
- ・特別支援学級担任等
- ・
- ・
- ・

校内支援体制をつくります！



システムで対応する

○△小学校へは、他の学校の様子を紹介したり、関係機関の情報提供をしたりしました。

△△中学校へは、定期的に巡回し、コーディネーターを支援しています。

□□小学校では、事例検討会に参加しました。

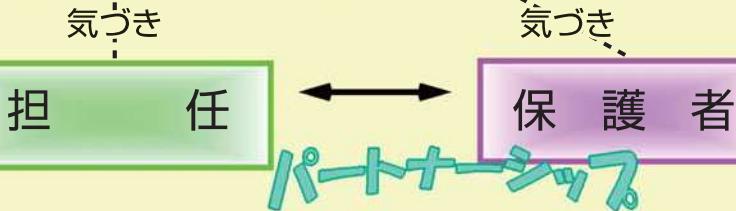


学校訪問の申込み
は最終ページへ

特別支援教育
巡回アドバイザー

支援体制

困っていること



特別支援教育
コーディネーター

○○高校や、○○
中学校では、漢字
や英語の補充学習
をしています。

△○小学校では、休
み時間にSSTを取り
入れた遊びの工夫を
しています。

* SST(ソーシャルスキルトレーニング)

□○小学校では、小
黒板を使って1日の
予定を表示していま
す。

□○幼稚園では、子
どもの話す内容を先
生が絵に描いて視覚
化しています。

ケース会議

「関係者がちょっと集まって…」「学年会議で…」「校内委員会で…」と様々なもち方があります。子どもを中心に据えて、具体的な検討をしましょう。

個別の指導計画

書くことで、課題と目標が明確になり、指導の方針が共有できます。引き継ぎやケース会議の資料となります。簡単なものから始め、少しずつ詳しくていきましょう。

校内研修

子ども理解のための力量を高めましょう。

授業研究

どの子にも「わかる」授業の創造！



学校のサポート
体制のページも
参照

すべての子どもに
発達支援を行う

Q. 特別支援教育はどうして
今年がスタートなんですか？

A. 「特別支援教育」が規定された、改正学校教育法が平成19年4月に施行されました。（第75条）

△△小学校では、通常学級
に在籍している発達障害の
ある児童に対し、積極的に
支援を行っています。

Q. 障害児学級は、なくなるの
ですか？

A. 「特別支援学級」と呼称が変
わりました。知的や情緒等
の種別については、今年度
も存続します。
今後、より柔軟な学級経営
(特別支援学級の弾力的運
用)が求められます。

○○小学校や○△中学
校では、通常学級の児
童生徒も特別支援学級
で指導しています。

特別支援学校

Q. 「特別支援学校」ってどんな学校？

- A. ・障害種別ごとの教育を担う学校として専門性を発揮した指導を行っています。
・特別支援教育に関する相談をしています。
・地域の小・中学校等との交流及び共同学習を積極的に行ってています。

特別支援学校のセンター的役割の具体例です

就学指導委員会での助言

幼・小・中・高等学
校での研修会で講演

*福祉機器展を行っています。



特別支援教育のノウハウがいっぱい！
教材・教具の研修会



このリーフレットには、各学校の連絡先や特別支援教育に関する情報がのっています。※

奈良県の特別支援教育
生きる力をはぐくむために

平成18年度



地域支援部も立ち
あげています。

幼・小・中・高等学
校と学習や行事の交
流をしています。



*高等学校とも
交流しています。

学校見学や教育
相談を受けます。

大淀養護学校
教育相談のご案内

困っていること
悩んでいること
知りたいこと
ありますか？

- ◇障害や発達について
- ◇就学や進路について
- ◇家庭や学校での生活
- ◇学習について

養護学校ってどんなところかな？

お問い合わせ… ☆学校見学会

地域の学校を
支援します。



特別支援教育
コーディネーター指導者
(すべての特別支援学校にいます)

特別支援教育

学校のサポート体制



クラスで、気になることがあります。



気軽に相談して下さい。

学校以外の機関への相談など、連絡調整をします。

担任

特別支援教育
コーディネーター

まずは

学 校

校内委員会

ケース会議

・多面的な視点で、手だての方向性を探る

個別の指導
計画

・実態を把握し、長期目標、短期目標を設定する（PDCAサイクル）

校 内 研 修

・発達障害について共通理解を図る

授 業 研 究

・子どもの姿に注目し、個のニーズに応じた授業を創造する



校内研修や
個別の指導計画
の作成にも使えます



特別支援教育ガイド2.
新しい学びの創造
-児童編-
刊行予定

上記刊行物は [教育研究所] ⇒ [教育情報] ⇒ [資料・刊行物] ⇒ [特別支援教育] からダウンロードできます

次に

市 町 村 教 育 委 員 会



地域のキーステーションです。

各学校の相談に応じます。

研修の企画や助言
コーディネーターの
バックアップ

相談の窓口
相談機関への連絡

巡回アドバイザー
との連携

その次に

教育研究所…専門的な相談や研修に応じます。

Q. 上記以外にどんなところで支援や相談を受けられるのでしょうか。

A. 発達障害支援センターやこども家庭相談センターなどがあります。※

※その他、相談できるところは、

[今日から使える 特別支援教育ガイド] ⇒ [連携をするなら] ⇒ [相談機関] に紹介しています。

特別支援教育

学校支援センター

特別支援教育体制を推進するために、特別支援教育巡回アドバイザーによる学校訪問や指導主事の要請訪問及び教育相談を行っています。解決が難しいケースでは、専門家チーム（医師や大学教授等）の助言を得ながら対応しています。

